

文化・経済フォーラム滋賀

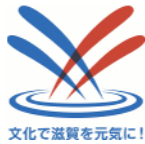
文化deけいざい 経済deぶんか ニュース&にゅーず 第7号(2011年6月13日)

発行 滋賀県文化振興事業団内事務局(大津市京町3丁目4-22 旧滋賀会館内)

077(522)8369 fax 077(522)9647

eメール bunka-keizai@shiga-bunshin.or.jp

事務局 岸野 洋



文化deけいざい 経済deぶんか  
ニュース&にゅーず 第7号

あれから3ヶ月たった

11日付

け各紙の朝刊トップ見出しは「9万人

なお避難所」(毎日)「不明なお8095人」(読売)などでした。なおーの2文字に復興の遅れを思います。あれから一東日本大震災、なお、まだまだ頑張れ東日本です。

経営、企画、広報の第2回部会長会議、先週9日にびわ湖ホール研修室で開きました。この日も京都で会議あっても、木村代表幹事は1時間限定で出ていただきました。率先垂範、有りがたいです。いつもと同様、6日に滋賀会館でスタッフ会議を行い、ここである程度煮詰めておいた議題の協議をいただきました。



出席者ですが、以下のとおりです。木村代表幹事、中村経営部会長、井上企画部会長、馬場広報部会長と事務局を預かる岸野と、スタッフはしが経文の田中さん、びわ湖ホールの江島さん、浅野さん、西川さん、成安造形大学からは加藤さん、石川さん、それに県文化振興課は磯間さんと竹内さん、事務局の県文化振興事業団からは満田さん、竹村さん、有田さんに加え、新しく福本さんにも出てもらいました。欠席なし、パーフェクトな出席でした。

何を決めたのかーですが、有田さんがまとめてくれました。過去、部会長会議や幹事会議で協議してきたことが、明確になってきました。寄り合い世帯の構成のわりには、まあ、まあでしょうか。順不同で決定事項を並べてみます。

前回、木村代表幹事のアドバイスで決めた2月11日(建国記念の日)に開催する総会ですが、この日も「もう会場押さえしておかないと」と木村代表幹事から指摘を受け、とりあえず琵琶湖ホテルとし、中村部会長に仮押さえをお願いしました。琵琶湖ホテルは午後3時半から空いており、とりあえず午後4時開催で調整したい、と思っています。

「文化で滋賀を元気に！」賞は、県文化振興課で案を練って頂き、何度か修正して

きましたが、概ね、以下の方向で決まりました。文振課の磯間さん、竹内さんから説明がありました。

会員だけでなく、広く県民または県内団体から他薦・自薦ふくめ、9月から募集する。

**文化・経済フォーラム滋賀街角文化賞、〃景観文化賞、〃ポスター文化賞など、文化・**



**経済フォーラム滋賀に 文化賞の名称をつける。** 賞

に名前つければ、賞の内容が具体化する。 県内の団体、個人を対象にする。 華やかでなくても、嗚呼！なるほど

と思う地道に輝いている賞を狙いにしたい。 選考は文化

経済フォーラム滋賀の幹事5名で行う。木村代表幹事、夏原、中井両副代表幹事、中村経営部会長、岸野事務局長が候補。

お二人の副代表幹事には承諾を得ていず、あくまで案である。 賞は各賞5本、その

の中から大賞1本。受賞は事前に記者発表した上、総会のおり表彰する。 トロフィー

は会員様の制作を原則とし、成安造形大のスタッフで検討する。 写真は天津市真野

学区で続いている<ふれあい鯉のぼり祭り>です。詳細は推薦のおりに述べますが、この

4月末に JR 堅田駅から真野へ行ったおり見つけました。これ、文化・経済フォーラム滋賀

景観文化賞の候補です。

企画部会担当の「文化・経済サロン」の第1回開催は以下のとおりです。びわ湖ホール  
の江島さん、西川さんから説明があり、井上企画部長から補足がありました。以下の  
内容です。

6月下旬か7月初め、平日午後6時から大津市内（コラボ滋賀、びわ湖ホールなど）  
で開催する。内容は9月に竹生島で行う建築学生ワークショップに絡める。WS事務局の  
古川さんと県立大の近藤准教授の対談を計画、現在交渉中。

以上ですが、この竹生島開催の建築学生ワークショップは既に「文化・経済フォーラム  
滋賀」として、後援することとしています。これまでフォーラム会員企業へ協賛金の斡旋  
をお願いしましたが、あまり成果がなく、文化・経済フォーラムとして予算項目に挙げて  
いる文化振興事業支援から10万円の拠出を提案、席上了解を得たことも報告させてい  
たきます。琵琶湖汽船は建築学生さんの搬送支援、資金窮状を察して船内宿泊などでも支  
援するそうです。

懸案の各部会開催ですが、広報部会と企画部会は以下の通り開催します、総会のおり、  
部会加入の申し出を頂いた方に事務局から近々通知します。人数の少ない経営部会は中村  
部会長におまかせです。

<広報部会> 6月27日(月)午後4時～ 大津市京町3丁目、滋賀会館内  
引き続き エンブティー懇親会

<企画部会> 文化・経済サロンの開催時に開催。日時決まり次第呼びかけ

その他事項も沢山の報告がありました。主なところは以下の通りです。

文化・経済フォーラム立ち上げの功績者で、1回目、2回目と事務局を持ってもらい、お世話になったしが経文社長の伊藤監事から社長交代人事に伴い、退任届けが出ていると報告がありました。伊藤監事には、過去2回のフォーラム開催で組織化へ基礎を作っただけ、まさに文化と経済をつなぐ大きな役割を果たしていただきました。どう感謝の言葉を言ったらいいか、わかりません。ありがとうございました。

設立総会のおり、**近江屋研究**を提案しましたが、成安造形大の加藤さんから<近江>を



タウンページで調べたら399件もあり、ネット検索でも、予想どおり手ごたえがあったと報告がありました。事務局預かりで、引き続き、データ収集を続けたいと思います。**国民文化祭**についても、お隣の京都で今年開催の第26回パンフレットを席上に配布しました。都大路パレード、開会式(10月29日)閉会式(11月6日)と各市町個別イベントをどう視察案内で

できるか、事務局で検討することになりました。**なんとか、滋賀で国民文化祭開催の機運**を作っていければと思います。中村部会長から昨年、国民文化祭を開催した岡山県の県内を一つにした文化団体組織のデータ配布がありました。分野別県レベル文化団体、市町村文化協会、文化関係公益法人など、ヨコの繋がりを作り、協力し合い、一緒になって機運を高める大事さがよくわかりました。いずれ、勉強に岡山にもーです。

そのほか、滋賀県内に東日本大震災で避難の人たちを励ます「滋賀♡絆♡アート支援プロジェクト」への協力、「文化で滋賀を元気に！」シンボルマークの活用促進、メルマガ未登録の75名に1～6号と登録案内を同封し郵送、「全国メセナネットワーク」への加盟手続き、文化・経済フォーラム滋賀への後援名義使用申請など、事務局の竹村さんから報告いたしました。初参加の福本さんからは全国統計から引っ張り出した滋賀県の消費動向、ネット運用などペーパーによる報告もありました。

会員の皆様、京都国文祭パンフ、統計資料など、お申し出あれば、お送りします。

以上、文責岸野